

楽しんで儲かる 農業みつけた

玄米アミノ酸微生物農法の役立つ情報満載！

発行
静岡農業技術支援協同組合

農業小話

「異常気象」の対策は4月から始めないと取返しができなくなります！

深刻な土壌汚染

プラソイラはどう使えば微生物を繁殖できるのか！

玄米アミノ酸で 高収量にする方法

サツマイモは肥料が少なくとも育つ作物である！

Q&A

トマトの苗の葉が大きくなります。正常でしょうか。



「異常気象」の対策は4月から始めないと取返しができなくなります！

夏作の定植期に入ります。果樹は開花期になります。気温も上昇していきます。常に頭に入れて置かなくてはいけないことは「異常気象」です。異常気象が激しくなるのは「夏」です。異常気象は昨年以上を想定しておいた方が良くもありません。作物は予想以上に育つということになります。良い意味で育つのではなく**生理不良が発生しやすい**という事です。

生理不良の主な原因は肥料過多です。生理不良も果実であれば売り物にならないほどの状態になります。お米でも一等米が激減したりします。**葉物、根菜は病害、虫害が多くなります**。どれくらいの異常気象になるのかわかりません。しかも安定した気候ではないのです。**変化の激しい気候になります**。

例えば徒長というのがあります。特にキュウリやトマトなど果菜に多いのですが、これはいままででしたら修正ができました。しかし、修正ができなくなる可能性もあります。果実でも同じです。日照が強過ぎて、まともな実にならない果樹の途中修正は不可能です。

異常気象の対策は4月から頭に入れてやっておかないと、収穫0もないとは言えないのです。太陽光は強くなるわけです。そうしたら、肥料を少なくして**玄米アミノ酸酵素液の葉面散布**を多くすると、強い太陽光を味方にできます。また、元肥を少なくやっただとしても**追肥で対応**できます。今までのように肥料を多くやれば取れるという考え方は、全てを失う危険があるので。

消毒も温度が高いほど強い効果が出ます。**強過ぎて葉が焼けてしまう心配があるので。みどりの放線菌なら、そういう心配はありません**。農業は、誰でもできる時代ではなくなったのかもしれない。

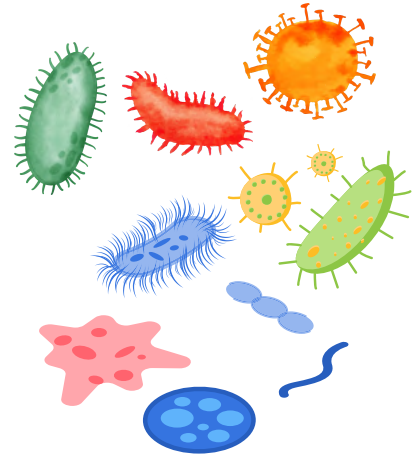


プラソイラはどう使えば微生物を増殖できるのか！

土を変えるのは難しいけれど、微生物なら短期間で変えられることは前回お伝えをした。

では微生物はどうやって変えるのかである。第一に微生物が必要としているものは何かである。それは生物なのだから酸素である。あらゆる生物は酸素がなくては生きていけないのである。

酸素を必要とする微生物には善玉が多いのである。
好気性の微生物である。 土の中に酸素を増やすにはどうすればいいのだろうか。



これも簡単である。**プラソイラで土を粗く深く耕せばいいのである。**ロータリー耕はやるほどに土が細くなる。土に酸素がなくなってしまうのである。微生物には逆効果になる。プラソイラで耕すという一回耕せば足りると考えている人が多いと思う。何回耕すかは土によって違うのである。

野菜の栽培をしたいと思ったら、土に粘りが少なくなるまでやらないといけない。土が粘ると言っても、雨が降らない時でも粘るのか、雨が降った時に粘るのかでも違う。これは、雨が降った時に土壌にどれぐらい雨が残っているかで決まる。見て分かるのである。

ある程度、雨が降って（40～50mm）水たまりが残っているようだと、土は水を含んで粘ることになる。**水はけが悪いということになる。** いろいろなトラブルの原因になる。

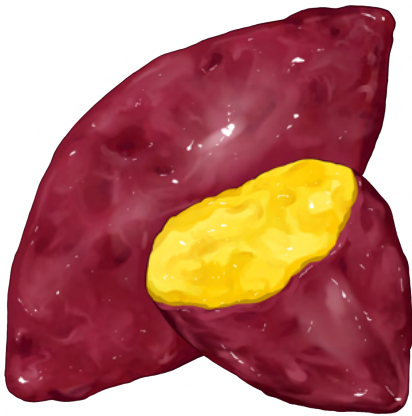
砂土になるとこういうことはまずない。粘土、黒ぼく、火山灰土には多い。

土は水を含むと別物になってしまうことが時々ある。これをなくさないの良い物は取れない。プラソイラで耕した後、ロータリー耕で整地する人もいる。理想はプラソイラを何度もかけると土は粗くなり整地されてくる。ここまでプラソイラをかけなくてはいいないのである。

排水が良くなるほど、土壌には酸素量が多くなる。 サアッと水が引くと残った水分で微生物は増殖する。水たまりが残っていると死滅してしまう。**この差が地力になる。**



サツマイモは肥料が少なくても育つ作物である！



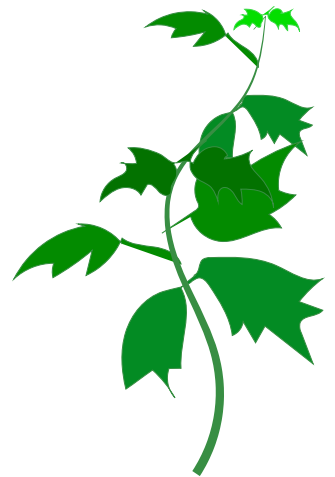
サツマイモを作る人は多いと思う。お菓子にもなって惣菜にもなる幅の広い用途がある。サツマイモで勘違いしている人が多くいる。肥料を入れないと育たないのではないかと思っているのである。

サツマイモはやせ地も育つ。肥料なんてほとんど必要のない作物である。肥料のかわりに必要なのは「**水**」である。**ヒルガオ科は一般的に水が必要である。**

空心菜などは典型的に水がないと育たない。サツマイモで収量を取るにはコツがある。苗を買ってきたら、**500倍希釈の玄米アミノ酸酵素液に苗を漬けて節から根出しをする。**2~3日で根は出てくる。これをやってから定植すると収量は取れる。

その理由は、根を出さないで定植すると根出しにバラつきが出てしまうのである。根出しが遅い根には芋がつかないものになってしまう。均一に根を出すことが大切なのである。

土壌はできるだけ深く耕して、乳酸菌もみがらぼかし10アール100kgの投入で大丈夫である。他の肥料は必要がない。苗を定植する時は水平植えである。**苗の下には新芽グングンと入れる。**定植したら、**玄米アミノ酸酵素液を500倍に希釈して毎日水をやってほしいのである。**



サツマイモは早く生長させるほど雑草が少なくなる。

遅いほど雑草が出てくる。さらに、根の活着も早いほど収量が取れる。7月には畝間が隠れるぐらいまでにやる必要がある。それには水分を与えなくてはいけない。10アール1tである。

玄米アミノ酸酵素液500倍の希釈水を与える。収穫はできるだけ遅い方がよい。糖がのるのは最後の最後である。収穫もつるを切って、少し土の中に置いてから収穫が良い。収穫してキュアリングの設備のない方は、1ヶ月ほど置くと追熟しておいしくなる。**現在サツマイモは根腐れ病が全国に出ている。しかし、これは肥料のやり過ぎ以外の何物でもない。**

肥料を入れ過ぎてはいけないのである。



玄米アミノ酸微生物農法に寄せられたご質問を紹介します



トマトの苗に玄米アミノ酸酵素液を散布すると茎や葉が大きくなります。
これは正常でしょうか。
トマトはあまり葉などが大きくならない方が良くないと聞きます。

福岡県 R様




トマトの苗の葉が大きくなるというのは苗に含まれている
チッソ分が多いからです。気にしなくても良いですよ。

ドンドン玄米アミノ酸酵素液を葉面散布して
おいしいトマトを作ってください。葉は正常になっていきます。



4月の花として、菜の花（なのはな）が春の風物詩として
人気です。鮮やかな黄色の花々が広がる畑は、春の到
来を暖かく迎え入れます。優しい香りと共に、新緑との
コントラストが心地良く、春の爽やかさを感じさせてく
れる菜の花は、4月の温かい日差しと共に、新しい季節
の訪れを告げる存在として愛されています。

玄米アミノ酸微生物農法 お問合せはLINE・メール・FAXでお寄せください！

MAIL  info@shizuoka-agrisupport.org <24時間受付中>

FAX  **0120-870-442** <24時間受付中>



玄米アミノ酸微生物農法
オンラインサイト



<https://aminofarming.com>

ネット注文が便利です♪

玄米アミノ酸微生物農法

玄米アミノ酸微生物農法
LINE公式アカウント



お友だち追加はこちら



毎月1日・毎週金曜日にお得な情報を
発信しております！
お友だちだけの特別なキャンペーンも定期的に実施中！



静岡農業技術支援協同組合

〒422-8034
静岡県静岡市駿河区高松2-15-26